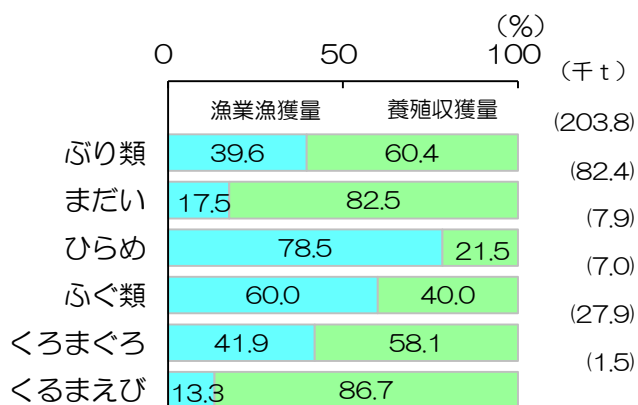


九州の養殖ふぐ類・ひらめ・くろまぐろのシェアは50%以上

養殖魚の中には、生産量で天然魚を上回るものがあり、全国では特に「まだい」や「くるまえば」の養殖魚が天然魚を大きく上回っています。

九州は養殖魚の全国シェアが高く、「ふぐ類」、「ひらめ」、「くろまぐろ」の約50%が九州の主産県で収穫されています。

■ 全国の海面漁業漁獲量と海面養殖業収穫量の割合（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』

注：「()」は、漁業漁獲量と養殖業収穫量の計です。

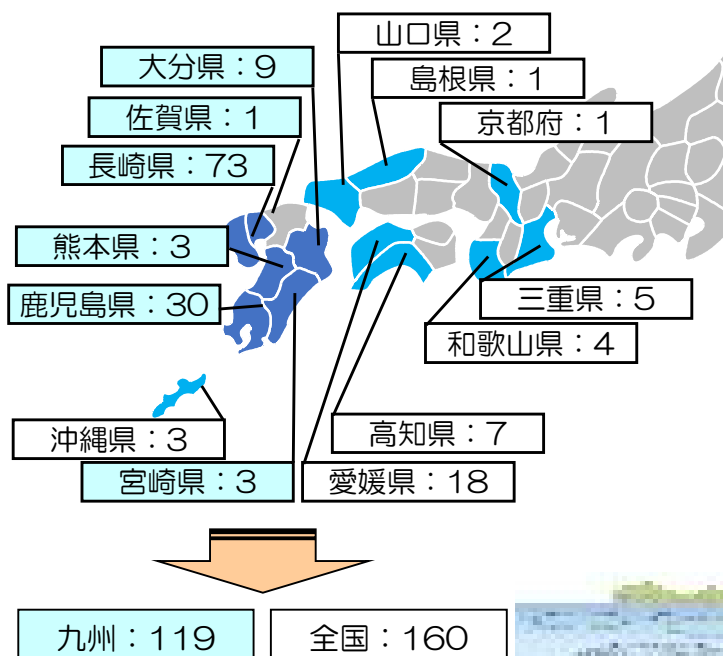
■ 海面養殖業収穫量の九州各県の全国シェア（令和5年）（概数値）



資料：農林水産省統計部『海面漁業生産統計調査（概数値）』

注：地域別集計により公表していない県を他、全国シェア10%以上の九州各県を記載しています。

■ 全国のくろまぐろ養殖場数（令和5年）



資料：水産庁『我が国におけるクロマグロ養殖』

注：漁場数は令和5年12月1日現在です。

■ 養殖における海洋観測システム（「うみログ®」）の開発とマニュアルの整備

三重県では、三重県水産研究所、独立行政法人国立高等専門学校機構鳥羽商船高等専門学校及び県内の企業が共同で漁場関係のリアルタイム監視が可能なIoT海洋観測のモニタリングシステム（名称「うみログ®」）を開発。同システムは、クロノリ養殖漁場に設置した海洋観測機が収集する水温、クロロフィル濃度等の情報をスマートフォンアプリで閲覧可能とし、養殖業者は、これらの情報を基に、養殖開始日の決定、プランクトンの増殖情報によるノリの色落ちの予測等に活用。

資料：『令和5年度水産白書「スマート水産業の推進等に向けた技術の開発・活用」』より抜粋

